



教育現場をさらによくするために



会派 チーム湖南 ● 永田 誠治 議員

通学カバンを軽くする 取り組みについて

答 学校に教科書やノート置いて帰る、いわゆる「置き勉」について平成30年度から取り組みを進めてきました。今回、校長に通学カバンを持ってみたり、重さを測ってみたりして、子どもの負担を実感するように指示を出しました。家庭学習の重要性を念頭に置きながら、必要最低限の携行品の持ち帰りについて、再度、市内小中学校へ啓発し、各校の実態に合った取り組みを推進します。

教師の時間外労働改善 の取り組みについて

答 勤務時間が終了しても小中学校の職員室に明かりが灯っていることが日常茶飯事である状況です。現状は、6月を例に挙げますと、80時間以上の超過勤務

者は小学校で17%、中学校47%で、「子どもたちが帰ってから、しなければならぬ業務がそんなにあるのか?」と不思議に思われるかもしれません。公立学校教員には残業代は支払われません。教員にとつて、最も大事な授業をするための教材研究。このことはどんな時代になっても、最先で取り組む必要があります。教員が超過勤務を重ねる、そのモチベーションは「子どもたちの未来のために」「子どもたちの命を守るために」「教職に就いた自分自身の目指す姿を実現するために」という崇高な願いに基づいています。今一度、全国から好事例を取り寄せ、働き方改革について自分事としての取り組みを進めます。



小規模多機能自治、 浸水被害、HAT



令和会 ● 上野 顕介 議員

問 小規模多機能自治について、地域の公共施設への行政機能分散は。

答 結論めいたことは言えません。ただ、支所機能は疑問です。行政のスリム化も大事です。

問 まち協に求める役割は。

答 まち協の方々は長年組織に残ってほしいし、地域で生きるしかない覚悟が欲しいです。そうしなければ必要が見えてくると思いますが。

問 石部浸水被害と頭首工の関係について

答 現状の頭首工管理方法で、宮川にバックウォーターがないのか現地で豪雨時検証したいです。ただ、滋賀県は頭首工との因果関係は認めていません。

問 村井川改修工事は、被害軽減に寄与したか、そうであれば今後他に河川改修が必要だが計画は。

答 村井川改修は被害軽減になりました。今後まずは市道五軒茶屋線の雨水対策から始めます。

問 HATについては、レストランに補助金を出しているのか

答 そうではなく魅力発信拠点として施設保守管理やイベントなどの交流促進、地元食材の発信などが目的で管理費を支払っています。

問 みちの駅構想があつてのHATであるとして議決したが、みちの駅構想はどうするのか。

答 いずれ整理するが、時代に合わせた行政の方向があるのでそれに合わなかつたら軌道修正は考えています。

問 HATに年間890万必要なのか。その効果は出せるか。HATをなくすのか拡大するのか。

答 考える時期に来ています。ここ数年で決めたいと思います。